

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2012.10.08-10.19

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月9日(火)

碌々産業、東莞にサービス拠点
スマホ加工機向け／南部を強化
碌々産業は、東莞市に工作機械のサービス拠点を2013年に新設する。中国南部の顧客対応を強化するのが狙い。スマートフォン関連の金型や治具加工に使う微細加工機の受注が増えている。(5面)

蝶理、車シート織物を海外調達
中国・タイなど／月100万m
蝶理は、海外からカーシート用織物を調達する。これまで国内のみだったが、中国、タイ、インドネシア、米国、メキシコに調達先を確保。2014年度に供給量を約5倍の月100万mに。(10面)

10月10日(水)

中国の建機見本市に不参加
コマツ・日立建機・コベルコ建機
上海市での世界3大建設機械見本市「パウマ・チャイナ」にコマツ、日立建機、コベルコ建機の日本大手3社が展出見送り。コマツは尖閣問題の前から。日立建機とコベルコ建機がキャンセル。(1面)

日系自動車、大規模減産
トヨタ・ホンダ半減／10月
日系自動車メーカーが中国で大規模な減産に入った。トヨタ自動車やホンダは10月は半減する。日本車の買い控えが広がり、各社とも生産調整する。長引けば戦略の見直しも。(6面)

尖閣問題の日系車メーカーへの影響
社名 9月の販売 生産対応
トヨタ 4万4100台 (▼48.9) 10月の生産を計画比半減
日産 7万6100台 (▼35.3) 販売状況に合わせ生産調整
ホンダ 3万3931台 (▼41.5) 販売状況に合わせ生産調整
スズキ 1万6020台 (▼42.5) 8日から通常稼働
マツダ 1万3258台 (▼34.6) 販売状況に合わせ生産調整
三菱自 2340台 (▼63.0) 現時点では通常稼働予定
富士重 1857台 (▼64.5) 日本からの輸出減の可能性も検討
注：カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス



IMF世界経済見通しの成長率予想

	12年	13年
世界全体	3.3(3.5)	3.6(3.9)
米国	2.2(2.0)	2.1(2.3)
日本	2.2(2.4)	1.2(1.5)
ユーロ圏	▼0.4(▼0.3)	0.2(0.7)
ドイツ	0.9(1.0)	0.9(1.4)
フランス	0.1(0.3)	0.4(0.8)
イタリア	▼2.3(▼1.9)	▼0.7(▼0.3)
スペイン	▼1.5(▼1.5)	▼1.3(▼0.6)
英國	▼0.4(0.2)	1.1(1.4)
カナダ	1.9(2.1)	2.0(2.2)
中国	7.8(8.0)	8.2(8.5)
インド	4.9(6.1)	6.0(6.5)
ロシア	3.7(4.0)	3.8(3.9)
ブラジル	1.5(2.5)	4.0(4.6)

(注) 実質GDP伸び率、単位%。カッコ内は12年7月時点の予想

中国、13年ぶりに8%割れへ
今年成長7.8%に下方修正

IMFが世界経済見通し。2012年の中国の実質GDP伸び率は7.8%に下方修正され、13年ぶりに通年で8%を割る見通し。なお、世界全体では3.3%に減速すると警告した。(2面)

日中軋轆 - 苦惱する中小企業

事業の見直しを迫られる

日中政府の軋轆のはざまで、中国に進出した日本企業が対応に苦慮している。不買運動で日本製品に影響が出始めており、中小企業には事業の見直しを迫られる例も少なくない。(深層断面=26面)

10月11日(木)

上海の楽器展に出演

中小28社・団体／尖閣問題乗り越え

中国で「メード・イン・ジャパン」の楽器をアピール。国内の中小楽器メーカーなど28社・団体が、上海での楽器関連の国際展示会「music CHINA」に尖閣問題を乗り越えて出展。(1面)

日商會頭「中小にも大打撃」

日中問題／大企業の減産直撃

日本工商会議所の岡村正会頭は「大企業の減産で、中小企業にも大きな影響が出てくる」との懸念を表明した。自動車メーカーなどが中国での事業展開が厳しさを増していることについて。(3面)

鋳物、アジアで最適生産

台湾2社と連携

木下製作所は、アジアで鋳物製品の最適生産に乗り出す。台湾の鋳物メーカー2社と連携し、日本、台湾、ベトナムの各拠点で製品や納入場所に応じた生産体制を構築する。(25面)

丸紅、穀物部門を米社に統合も

10月12日(金)

中国は対話の機会逸している

ラガルドIMF専務理事

IMFのラガルド専務理事は会見で、中国の中央銀行総裁らがIMF・世銀総会の欠席に「IMFは対話の場を提供。総会では優れた議論が行われてあり、せっかくの機会を見逃している」(2面)

中国のSAP増産見送り

日本触媒／中国減速・需要低迷

日本触媒は、中国における高吸水性樹脂(SAP)の生産能力強化の計画を、凍結を含めて再検討。2014年7月に増強する計画だったが、中国の経済減速や今後の需要低迷を考慮した。(10面)

鶴田電機、中国・東南ア開拓

装置・機械向けトランス

鶴田電機は、装置・機械メーカーからのトランスの受注・販路開拓に乗り出す。海外は香港とシンガポールで現地代理店と提携し、東南アジアや中国での販路を開拓する。(21面)

10月13日(土)

日中軋轆 - 苦惱する中小企業

事業の見直しを迫られる

日中政府の軋轆のはざまで、中国に進出した日本企業が対応に苦慮している。不買運動で日本製品に影響が出始めており、中小企業には事業の見直しを迫られる例も少なくない。(深層断面=26面)

日中軋轆 - 苦惱する中小企業

事業の見直しを迫られる

日中政府の軋轆のはざまで、中国に進出した日本企業が対応に苦慮している。